

ATOMIC AQUATICS

DIVING MASK, SNORKEL

OWNER'S INSTRUCTION MANUAL

取扱説明書

第1版

製品名 ダイビング用マスク ダイビング用スノーケル

ATOMIC AQUATICS



〈正規輸入代理店〉

株式会社タバタ

八潮事業所
〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根768
☎048-996-7133 FAX.048-997-1606

大阪事業所
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-4-5 谷町センタービル7F
☎06-6949-2661 FAX.06-6949-2671

九州エージェンシー
〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-32
☎092-847-3681 FAX.092-847-3690

茨城事業所
〈受注センター〉
〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地652-2 D棟
☎0295-54-0002 FAX.0295-53-4688
〈メンテナンスサービスセンター〉
〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地651-2 A棟
☎0295-52-5621 FAX.0295-52-5823

◎製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室 ☎0120-989-023
(受付時間/月～金 9:30～12:00、13:00～17:00)
〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根768
※ATOMICのWEB上から、取扱説明書(PDF版)をダウンロードすることができ
ます。
http://atomicaquatics-j.com

※本文の無断転写をかたくお断りします。
©Copyright 2009 Tabata Co.,Ltd. All rights reserved.

はじめに

この度は、ATOMIC(アトミック)ダイビング用マスク、スノーケルをお買いいただきました。まことに有難うございます。

当製品をご使用になる前に、必ずこの説明書を読み、取扱方法と危険、警告及び注意事項を完全に理解するようにしてください。また、ご不明な点がある場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。万一、間違った使い方をした場合には、重大な事故につながる可能性がありますので、十分ご注意ください。

取扱説明書は製品の一部です。必ずいつでも取り出して読める場所に保管し、忘れてたり、分からないことが生じた場合には、何度でも読み返すように心がけてください。もし、他の人に当製品を貸し出すような場合には、必ずこの取扱説明書を添付してください。

なお、スクーバダイビングではなく、スキンドайビングやスノーケリングに当製品をご使用される場合でも、該当する項目は必ずよくお読みください。

安全のために

スクーバダイビングは、水中という非日常的な美しき世界に我々を導いてくれる、素晴らしいレジャースポーツです。また、スクーバダイビングに対する正しい知識と、器材の正しい取扱方法を理解していれば、老若男女を問わず誰でも楽しむことができる親しみやすいレジャーでもあります。しかし、それらの知識と取扱方法を正しく習得していない場合には最悪の場合、重大な事故につながる危険性があることもまた事実です。そして一方で、その可能性は決して高いものでないことも、ダイバーの皆様は十分ご存じのはずです。

日本スクーバ協会*では、全てのダイバーの皆様にダイビングにおける危険性とは何かをよく認識していただくためにも、取扱説明書に共通の「危険」「警告」事項を掲載するとともに、「危険」「警告」「注意」表示のそれぞれの意味を以下のように定義しています。

※日本スクーバ協会とは、安全性の向上を第一に、ソフト及びハードの両面からダイビング業界の健全な進歩と発展を考えていくことを目的として日本国内の主要器材メーカー、商社、ウエット(ドライ)スーツメーカー、専門雑誌社等が集まって構成されている団体です。

「危険」：それを守らないと、最悪の場合、重症事故や死亡事故につながる危険性のあるスクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報。

「警告」：それを守らないと、間接的に重症事故や死亡事故につながる可能性、もしくは、重度の物損事故が起こる可能性のある、スクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報。

「注意」：それを守らないと、軽症程度の事故につながる可能性、もしくは、軽度の物損事故がおこる可能性のある、スクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報。

警告事項

●スクーバダイビングを行う際には、必ず良好な健康状態で行ってください。少しでも、寒気を感じたり、疲れていたり、気分が悪かったりする場合には、絶対に無理を避け、ダイビングを中止してください。(日本スクーバ協会共通掲載警告事項)

●スクーバダイビングを行う前には、アルコール類の摂取はもちろんのこと、薬品類(特に点鼻薬やかぜ薬等)の服用を避け、体調の悪い人や持病がある方は必ず事前に医師の診断を受けてください。(日本スクーバ協会共通掲載警告事項)

●当製品をご使用になる前に、必ず取扱説明書をよく読み、取扱い方法と危険、警告及び注意事項を完全に理解するようにしてください。また、ご不明な点がある場合には、販売店にて必ず説明を受けてください。

●使用する前には必ず各部を点検してください。ストラップの緩み、各部の作動状況、破損等の異常がある場合や、少しでも疑いがある場合には絶対に使用せず、すみやかに販売店にて点検、修理を行ってください。

●ダイビングマスク、スノーケルは、ご自分では絶対に分解しないでください。また、規格外のパーツを取り付けたり、勝手に改造を加えることもおやめください。万一、ご自分で分解したり、改造した場合には、水没、破損の原因となり、重大な事故を招く可能性があります。

●マスクのレンズには、割れた時に破砕面が鈍角になる強化(テンパード)ガラスを採用して安全を高めています。が、岩場等でマスクを傷つけたまま無闇に水中に飛び込んだりすることは大変に危険です。岩に衝突する等してレンズが割れると重大な事故につながる可能性がありますので、飛び込み(ボートダイビング時を除く)はおやめください。

●スクーバダイビングとスキンドайビング、スノーケリング以外の目的には絶対に使用しないでください。

注意事項

●ダイビング器材は、メーカー、品番によって操作方法が異なりますので、なるべく他人に貸さないようにしてください。もし、貸し出す場合には、必ずこの取扱説明書を添付してください。

●頑固な汚れは、水で薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取った後、流水で洗剤成分を完全に洗い落としてください。強い洗剤をそのまま用いたり、水洗いが不十分だったり、ガソリン、シンナー、アルコール等の有機系溶剤を使用すると変形や変色の原因となりますので、十分にご注意ください。

※スクーバダイビングではなく、スキンドайビングやスノーケリングに当製品をご使用される場合でも、警告事項と注意事項は必ずよくお読みください。

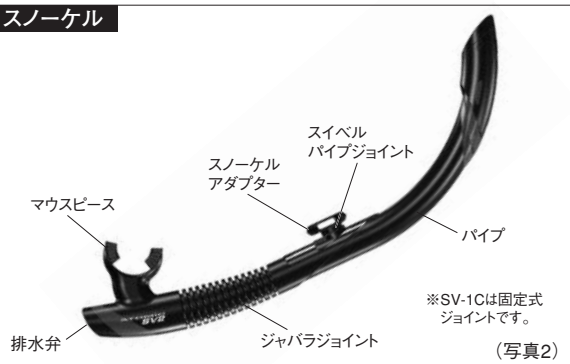
危険事項

●当製品を使用してスクーバダイビングを行うにあたっては、国際的に認知されている潜水指導団体の学科講習及び実技講習を必ず受けてください。安全性の見地から、各団体の発行するCカード(講習終了認定証)を取得していない方の当製品の使用を禁止いたします[但し、指導各団体のインストラクター監視下における講習中の使用は、この限りではありません。](日本スクーバ協会共通掲載危険事項)

●Cカードを取得している方でも、もし、減圧症やエアエンボリズム等の減圧障害発生のメカニズムとそれを防ぐ方法を十分に理解できていない場合は、講習を受けた指導団体のテキストブックを必ず理解できるまで読み返してください。基本的な知識のないままダイビングを行うと、重大な事故につながる可能性があります。

●スクーバダイビングを行う際には絶対に一人で潜らず、必ずバディシステムを守るようにしてください。単独潜水は、重大な事故につながる可能性があり、大変危険です。(日本スクーバ協会共通掲載危険事項)

各部の名称



スノーケルのマスクへの取り付け方

ATOMICスノーケルをお手持ちのマスクに取り付ける場合は、次のような手順で行ってください。必ず顔の左側にスノーケルがくるようにセットしてください。

取り付け方

スノーケルアダプターのレバー（下部突起）を押し上げながら、スリット部を拡げて、マスクのストラップを送り込みます。この時、ストラップがねじれないようにご注意ください。（写真3）（写真4）



（写真3）



（写真4）

取り外す時は、上記と逆の手順で行ってください。

ワンタッチ着脱機構

スノーケルは、スノーケルアダプターのレバー（上部突起）を押し上げながら、下側にスライドさせることでスイベルパイプジョイントから外すことができます。（写真5）（写真6）



（写真5）



（写真6）

装着する時は、スノーケルアダプターの溝にスイベルパイプジョイントの突起部がはまるように合わせて、カチッと音がするまでスライドさせます。これにより、ストラップを引き抜かず簡単にマスクからスノーケルを着脱することができます。

スノーケルアダプターは上下にスライドし、しかも30度回転するので、くわえた時に口元に負荷がかからず、しかも、パイプ先端を最適な位置に保持できます。

マスクの装着

くもり止めを施したらマスクを装着します。水漏れの原因となりますので、髪や眉毛、髭等をできるだけスカート部分と顔の間にはさみ込まないように注意してください。

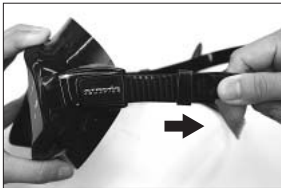
マスクの着け方

- ①スカート部分にはさみ込まないよう、髪を片方の手でかきあげ整えます。
- ②マスクを顔につけ、ストラップを後方に一旦引っ張り上げます。
- ③ねじれないように注意して、ストラップを後頭部に掛け回します。
- ④マスクの位置を整え、髪がスカート部分にはさまっていないかどうかをもう一度確認します。
- ⑤必要に応じて、マスクのストラップの長さを調整してください。

ストラップの長さ調整

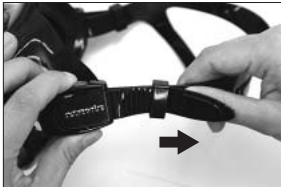
ストラップを締める時

（写真8）のように、外側のストラップを矢印方向にひっぱってください。



ストラップを緩める時

（写真9）のように、ストラップバックル上部のアジャストボタンを押しながら内側のストラップを矢印方向に引っ張ってください。



（写真9）

※写真では説明用にマスクを手を持っていますが、顔に装着した状態でもストラップの長さを調整することができます。

エントリー時の注意

ATOMICマスクは割れた時に破砕面が鋭角にならない強化（テンバード）ガラスを使用して安全を高めています。岩場等でマスクを付けたまま無闇に水中に飛び込んだりすることは大変危険です。岩に衝突する等してレンズが割れると重大な事故につながる可能性がありますので、飛び込み（ボートダイビング時を除く）は絶対におやめください。また、スクーバダイビングとスキンドайビング、スノーケリング以外の目的には絶対に使用しないでください。ボートダイビング時に、バックロール、ジャイアントスライド、フィートウギャザー等の方法でエントリーする場合には、衝撃で飛ばされないので、必ずマスクを手で押さえ行ってください。

スキーズ

水中では、10m潜降するごとに1気圧の割合で水圧が増えて行きます。水中の圧力（周囲圧）が体内の空間の圧力よりも高い場合には、水圧がその空間を圧迫します。この時、身体の各部に起こる痛みを伴った状態のことをスキーズと呼びます。

■スキーズには、(1) 中耳、(2) 鼻腔（サイナス）、(3) マスク内等の種類がありますが、(1)と(2)は、“耳抜き”によって、(3)はマスク内に鼻から息を送り込む“マスクブロー”によって解消することができます。

■(3)のマスクスキーズは、ひどい時は顔や目の血管に障害を与えたり、マスクの装着痕がしばらく残ってしまう場合がありますので、痛みを感じたらすぐにマスクブローをするようにしてください。

スノーケルクリア

スキンドайビング時にスノーケルをくわえたまま水中を潜った時にはもちろん、水面で使用している時に波をかぶったり、先端が水面下に沈んだ場合等には、

ダイビング前のチェック

安全で快適なダイビングを行うために、毎ダイビング前には必ず以下のことをご確認ください。

■ストラップをしない状態でマスクをピッタリと顔に合わせ、軽く息を吸ってみてください。息を止めている間、落ちないで顔に貼り付いている状態であれば、フィッティングに問題はありません。（写真7）



（写真7）

■スノーケルは、プラスチックパイプ部分に亀裂等の異常がないかどうか、また同様にマウスピースにも穴があいてないかどうか確認してください。パーツによっては交換修理が可能なものもあります。

■排水弁付スノーケルの場合は、排水弁がしっかりと取り付けられているかどうか、ゴミや砂等の異物を挟んでないかどうかを確認してください。もし、異物を挟んでいる場合は、水道水などで洗い流してからご使用ください。

スノーケルのパイプ内に入った水を排出しなければなりません。これをスノーケルクリアといい、一般的にはプラスト（吹き出し）法を用います。

プラスト（吹き出し）法

①水面で、あるいは水中から水面に浮上した際に、短く息を“フツ”とスノーケル内に吹き出すことによって、スノーケル内に残った水を吹き飛ばしてしまう方法です。（図1）



（図1）

②スノーケルクリアをした後は、パイプ内にまだ水が残っている可能性がありますので、ゆっくりと注意深く呼吸をしてください。水が残っている場合には、もう一度クリアしてください。

日常の点検と保管

ダイビング終了直後

器材を出来るかぎり長持ちさせるために、また、次回に安全で快適なダイビングを楽しむためにも、ダイビング終了後は、できるだけ早く真水にて水洗いを行ってください。

帰宅後

①帰宅後は、風呂場などで、もう一度よく水洗いをしてください。浴槽がある場合は、スノーケルとマスクを一晩程度きれいな水の中に浸して、完全に塩抜きしてから、水洗いをしてください。

②水洗い後は、乾いた布等で全体的に水分を拭き取り、直射日光を避けて、風通しの良い所で陰干しをしてください。

マスクのくもり止め

■マスクのレンズ面（顔側）は使用しているうちに、海水成分や汗、脂分、化粧品成分などで次第に汚れていきます。また、購入後の新品のマスクのレンズ面には、シリコンから気化した少量のガスの影響によって油膜が付着している場合があります。そのまま使用するとくもりが発生しやすいので、使用前に食器用クレンザーを使って、マスクのレンズ面を洗浄するようにしてください。

■中性洗剤を使用した場合は、付着した洗剤成分を完全に流水（真水）で洗い落としてください。強い洗剤をそのまま用いたり、洗剤成分が付着したままにしておくと、まれにフレーム（プラスチック）部分にクラック（細かいひび割れ）が発生する場合があります。

■また通常は、ダイビングをする前に市販のくもり止め液等をマスクのレンズ内側に塗ることによって、よりくもりの発生を抑えることができます。（市販されているくもり止め液の中には非常にプラスチック素材を痛めやすいものがあります。特に目に刺激があるようなくもり止め液にはご注意ください。）

■くもり止め液がない時には、唾をマスクのレンズ内側に塗ることによって、ある程度のくもり止め効果が得られます。

■ファンデーション等の化粧品、サンオイル、日焼け止めクリームを顔に塗ったままマスクを装着するとくもりの原因となりますので、ご注意ください。

③十分に乾燥させた後、変型防止のためにも、マスクは購入時に付属しているケースに入れて、なるべく暗所に（少なくとも直射日光を避けて）保管してください。

※保管する際には、重いものを直接上から載せたりする等、特にマスクのスカート、スノーケルのマウスピースに負荷がかからないようにご注意ください。

その他の注意事項

■直射日光や、炎天下の車内やトランク等の、極端に高温になる場所に器材を放置しないでください。熱や紫外線の影響によって、破損したり、素材寿命が縮まったりすることがあります。

■他の色物（ウエットスーツ、ゴムフィン、水着等）と一緒に保管すると、色がシリコン部分に移行することがありますので、マスクやスノーケルを保管したり、運搬する際には、ケースに入れる等、色物から離すようにしてください。

■ボートダイビング等の際には、マスクやスノーケルをデッキ上に放置して、足で踏んだり、タンクの下敷きにする事のないようご注意ください。スノーケルのアダプターや、マスクのフレーム、バックル類が破損する場合があります。

■マスクやスノーケルの各部に付着した汚れが気になる場合は、市販の中性洗剤をメーカー指定の希釈率（洗剤の裏面の説明に表示）にうすめて入れた水で洗い、その後洗剤成分を流水で完全に洗い落としてください。強い洗剤をそのまま用いたり、つけ置き洗いをしたり、洗剤成分が少しでも残っていると、洗剤の種類によってはプラスチック素材を侵してひびわれ等を起こさせるものがあります。